第4期神戸市教育振興基本計画(素案)へのパブリック・コメント(要件不備)

No.	意見
1	初めまして。いつも神戸の子ども達のためにご尽力いただきありがとうございます。計画書を拝見させていただき、子供達にとって、先生にとって、保護者にとって、みんながしあわせになる様な未来が描いていけるといいなと感じました。実は、私は『NPO法人 こどものみらいプロジェクト ゆめドリ』大阪事務局のメンバーです。公立、私立の小中学校へ『ドリームマップ』の作成を出前授業でお届けるする活動をしております。2023年度は大阪市立の小中学校を中心にお届けしました。私はこの活動は、・子供が主役 ・主体的に生きる力を育む教育 ・自己肯定感や自己効力感を育む教育に繋がり、子供達が『体験学習』を通して、『豊かな心』をみ、『主体的な学び』につながる様なものになっております。大阪市の小中学校の校長先生、並びに担任の先生方からは嬉しいお言葉を数多くいただき、私の出身である神戸市でもぜひ積極的に活動できればと願っております。私自身の子供も小学校に在籍しており、保護者としてもぜひ体験して欲しい活動だと感じております。ぜひ、一度『ゆめドリ』のホームページをご覧いただければと存じます。突然のメールで大変失礼致しました。よろしくお願いいたします。https://yumedori.or.jp/yumedori/about-dreammap/
2	なぜ3歳児保育が全園ではないのか。公立の幼稚園は本当に素晴らしいです! 私立が強いのかもしれませんが、子供達の姿や保護者の姿を見てください! 勉強勉強ではないし、遊びの中でもしっかりと先生達が子供達のことを考えて保育をしてくれています。実際の保育を見たことがありますか? 私立から公立に転園して本当によかったと知り合いも言うくらいです。先生もしっかり話を聞いてくれます。 子供達のトラブルも子供達が納得がいくまで聞いてくれます。やらせの保育はないです。絵画や製作もみんな想いを持って描いていることがよくわかります。本当にこれ以上公立をなくさないでほしいです。よろしくお願いします!!!!
3	息子が小2から担任が怖くて不登校になり一年以上経ちました。家で過ごし週1で親付き添いで体育や給食にだけ登校しています。友達は無邪気に悪気なく、なんで来ないの?不登校なん?と聞いてくれます。子どもたちにも不登校で悪いことじゃない、誰でも休んでもいいよ、どんな気持ちなのか、教育機会確保法や子どもの権利について、学校から説明をする機会があっていいと思います。子ども以前に先生方がどれくらい理解されてるのか、現場の先生に認知、浸透するようお願いします。現在学校は寄り添ってくれていて助かりますが、息子にあった学習場所や方法の提案は無く、また他に不登校の子がいるかなどは教えてもらえず孤独です。学校の相談窓口が不明確です。教頭先生がなんでも私にと転入挨拶文で書いておられましたが、先生不足で教頭も校長までも授業に出られています。普段は担任としか話してきてないのに、親も弱っている中、「初めまして、不登校で困っているんです」と教頭や校長に話を持ちかけるのは勇気もいります。子も保護者も担任1人との関わりだけではなく、入学当初から複数の先生とつながる、もし先生のおかしい発言や暴力など見たら、子どもたちに誰にでも話していいという意識付けをし、子どもたちが校内で発言、他の大人に助けを求められるような環境にしてほしいですし、完全不登校になる前に、校内に拠り所があればいいなと思います。校内フリースクールなどの平日昼間予約無しでいつでも利用できる居場所がほしいです。また校内だけでなく、公民館や、区民センター、区役所や図書館、最寄駅の一角のスペースでいいんです。空いている場所が沢山あるので、市で買い上げするなり民間に委託ででも運営してもらい、子どもたちが平日昼間自由に安心して出入りできる安全な場所、学習支援もしてくれる場所を、身近な徒歩圏内の地域に沢山作ってほしいです。民間のフリースクールに通う場合には高額で、補助金がないのでなかなか気軽には選べません。また在籍学校内で、不登校児の保護者会など、親も繋がるような場所もお願いします。

第4期神戸市教育振興基本計画(素案)についての意見について述べさせていただきます。

基本計画(案)は教育基本法に準拠し、教育行政の在り方として資料きれいにまとめられており、本来目指すべきあり姿である。

しかし、実態はどうだろうか? 理想と現実との乖離が、神戸市の市政の現実問題(神戸市の人口減少に歯止めがかからないことと)に直結するのではないかと考えています(神戸市行政が支持されていない証左である)。

- ○例えば、公立幼稚園の廃止など、そもそも憲法で保障されている教育の基本を公立園がモデルとなって示していかなければな らないにも関わらず、園児の少数化により切り捨てるような政策。
- ○全国で公立幼稚園が減少するなか、多くの公立幼稚園が残る神戸市は、それ自体が資産ではないのか?
- 〇欧米諸国と逆行し教育行政を私立園への利害関係との力関係によるものとしか思えない。※現に、国政を見ても、キックバック問題など・・・どんどん悪さが露呈。
- 4 ○また、地域によっては行政サービスの空白の懸念もある。
 - ○市長はじめ執行部、市議会もそもそも必要な行政サービスは市民のためであり赤字運営は当たり前という意識が欠如している。教育は憲法で保障されており、赤字・黒字の議論は不要である。
 - ○赤字・黒字の議論をするのであれば、効率化による行政サービス運営効果の検証である。
 - ○例えば、パソナへ業務委託しているが本当に市の財政に対してプラスなのか?
 - ○公務員削減による人件費とパソナへの業務委託費の比較を市民に示しているのか?

市民を馬鹿にしていれば、SNSなど情報社会の中で自民党のキックバック問題のようにあっという間に世間にさらけ出される。これは地方行政も同様である。

襟を正して、市民の声をよく聴き、行政サービスとして守らなければならない者はしっかりと税金で担保することを強く求めたい。

最後に、教育振興基本計画(案)と実態との乖離を収斂することを強く求めます。 以上

先日神戸市より、教員の方人手不足などにより、必要以上に電話をしてこないでほしいと通知がありました。見守り隊の方にも 是非相談をとの記載もありました。この通知画面を、見守り隊の方に見せたところ、ご存じなかったようで困惑された様子でし た。

5 私は、これまで自分から学校に連絡する事はありませんでしたが(すぐーるアプリで事足りたので)先生方からは、困り事があればいつでも連絡を下さいと声掛けされていたので、気軽に連絡する事はできなくなるのかな?と思いました。

先生方がお忙しい中、子供達の為に頑張って下さっているのは十分にわかっております。

先日の通知の中で、具体的に何がダメで、何がOKなのかも記載があれば私達も過ごしやすいなと思いました。

教育について、もっと援助をだすべきです。

7

あと、神戸市営住宅にすんでるんですが、申請して私の不備は、わかるのですが、そのほかについては、申請書類をだしたにも かかわらず。なくされたのかしりませんけど、不備でとどいてないと言われました。

I think child-centered reforms are also important. Before that, isn't it important to reform the work of teachers? Eliminate unnecessary work and simplify it. Eliminate unnecessary classes, arts and crafts, music, etc. in society. Eliminate waste, such as eliminating current English classes because they are of no use in society. Wouldn't it be possible for teachers to finish their work in a shorter time and go home sooner if everything is streamlined and simplified? It seems that you are currently using textbooks, notebooks, and tablets, but if you put all the subjects on a tablet, wouldn't it be possible to just use a tablet? (原文が英語のため、日本語訳を追加)

子ども中心の改革も重要だと思います。その前に、先生の仕事の改革が重要ではないでしょうか。不必要な仕事をなくし、簡素化する。図工、音楽など社会に不必要な授業をなくす。現在の英語の授業をなくすなど、社会で役に立たないからムダをなくす。すべてを合理化・簡素化すれば、先生はもっと短時間で仕事を終え、早く帰宅できるのではないでしょうか? 現在、教科書、ノート、タブレットを使っているようですが、全教科をタブレットに置き換えれば、タブレットを使うだけで済むのではないでしょうか?

式典以外の登校日は、体操服で過ごさせてやってほしい。動きやすく、着替えやすく、過ごしやすい。

また汚れたら気軽に洗濯ができ、子供にとって快適と考えます。

教師はジャージで過ごし、生徒達もジャージで過ごさせてやってください。

平素より子供達の教育について尽力していただきありがとうございます。

私自身小学生の子供を持つ親であり、職場で発達特性のある子供や不登校の子供の支援をしており、保護者として、また支援者 としてお伝えさせていただきたくメールを書かせていただきました。

ご検討いただきたい事は下記になります。

はじめに、感覚過敏があり体操服や制服の着用ができない児がたくさんいます。そのために学校行事が嫌になってしまったり、 学校自体に行くことが苦痛になってしまう子を多々見ています。個々に相談して許容して頂けるケースが増えているとは思いますが、他児との違いに傷ついたりいじめられたりすることがあるようです。特別な理由なくとも選択できる・自由に選ぶことができると子供達の負荷はかなり減ると思います。基本政策1の子供が主役の学びの機会を奪わないためにもご検討頂けると幸いです。

また、基本政策2.3.4のためには学校の先生方にゆとりがなければ難しいと思います。補助者の雇用を含む人員増をお願いいたします。

基本政策2に関してですが、支援級や通級の不足を感じております。特性のある子供たちが増えている中、教室の設置と人員の確保をお願いいたします。学校に行きたくても行けない、先生達も支援したくてもこれ以上は難しいとなり不登校になった子をたくさん見てきました。どうか、これらの子供達のための所属を作ってください。

以上、大変なことかと思いますがご検討のほど、よろしくお願いいたします。

教育振興基本計画について拝見させて頂きました。子供を持つ親として、教育ビジョンに掲げられるような子となるのを望んでおります。

本計画について,以下意見させて頂きます。

教育ビジョンでは「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」ために、「自他を大切にし、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となれるよう、教育の充実に取り組みます」とあります。

基本政策1においては、重点施策として、「自他を大切にする」、「自律心や社会性、協調性を育む」、「子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動する」ことなどについては記載されているように見受けられます。しかし、「多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験」というコミュニケーション能力については、英語について記載のあるものの、日本人の子供や社会とのコミュニケーションについては重点施策には明示されていないように見受けられます。

Withコロナの社会の中で情報技術の進展もあり、コミュニケーションが従前よりも希薄になりつつあるような気がしており、身近な仲間や社会とのコミュニケーションが非常に重要だと感じているため、子供同士でのつながりや対話を行い、お互いに支えあって協力していくようなことが施策に明示されていないことが少し残念に思えました。

間接的には、当然このようなコミュニケーションなどは含まれているのではないかと思いますが、この計画期間の間に子供同士の仲間意識やコミュニケーションが希薄になることがないようにして頂ければ嬉しいです。

すぐーるをもっと活用していただきたいです。小学校4年生の娘がタブレットに連絡事項を書くのですが、チェックしようと思ってもできないことがあったり、学校に置き忘れてくることがあります。すぐーるにて、毎日の連絡事項を保護者にも共有していただきたいです。

計画の素案は具体性がまだ無いためよくわかりません。

要望としては、神戸という土地や特性を活かした教育を盛り込んでいただきたいと思いました。例えば

- ・ポートライナーの自動操縦技術の要素を含んだプログラミングの授業
- ・スーパーコンピューターに子供自らが考えたシミュレーションの計測実験
- ・神戸に拠点をおくスポーツチームの選手との交流や体験の促進
- ・先端医療の体験や医療に携わる人の価値観を学ぶ場の提供
- ・パンやケーキ、洋菓子、中華料理や諸外国の料理をプロや本場の方から学べる機会の提供

その他、農水産や温泉を含めた観光業、歴史、風土など体験はできる限り幅広く行っていただきたいです。将来神戸への愛着を 持ち続け、多様な生き方を選ぶ機会を与えながら、小さな頃から具体的にイメージして、夢に突き進める教育をお願いいたしま す。

10

12

第4期神戸市教育振興基本計画(素案)

基本政策 5 / 地域とともにつくる開かれた学校に「PTAの加入自由化とその大々的広報」「学校施設でのPTA非会員とそのこどもへの差別的とりあつかい(実費徴収をふくむ)の禁止」「PTAなどの外部団体に学校施設を使用させる際に、その団体の運営状況を定期的に監査する(任意なら法律なしに調査できる)」「監査を拒み続ける団体や運営が不適正な団体には、学校施設の使用を不許可にして運営の適正化をうながす」を追加していただきたい。

PTAなどの外部団体が学校施設を使って自由勝手に違法な活動をつづけ、たとえば学校も共犯となってPTAへの事実上の強制入会と非会員への差別的取り扱いをすることで、保護者とこどもに大きな被害が発生している。そのために子供を産まない女性が増え、少子化に拍車をかけている。

PTAの任意加入を大々的に広報している明石市は、若年世帯が増加している。また、PTAの加入自由化を教職員にも適用し、それを大々的に広報すれば、教職員の志願者が増加することは間違いないであろう。

PTA等の外部団体の運営適正化は、神戸市の人口減少と少子化と教員不足を解決するための大きな施策となる。

基本政策2・3について

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引(H27.1)より抜粋

【大規模校及び過大規模校について】

- 一般に大規模校には次のよ うな課題が生じる可能性がある
- 1 学校行事等において、一人 一人が活躍する場や機会が少なくなる
- 2 集団生活においても同学年の結び付きが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる
- 3 同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する
- 4 教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行 うことが困難であり、問題行動が発生しやす い
- 5 児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる
- 14 6 特別教室や体育館、プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる

7 学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる 文部科学省では、従来から25学級以上の学校を大規模校、31学級以上の学校を過大規模校とした上で、過大規模校については速 やかにその解消を図るよう設置者に対して促している」

とあるのですが、数年後、子どもが入学予定の校区の井吹東中は過大規模校で、上記にある課題(問題)点も当てはまると思います。

他の中学校でされている数学や英語の少人数学習やハーフクラスでの学習、通級指導、不登校や特別支援の生徒のための別室学習などをするには絶対的に教室が足りないのでは?と不安です。また、働かれている教職員の方々の負担も小規模校と比べればかなり大きく、ストレスの多い毎日だと思います。

仮設校舎などの小手先の改善ではなく、今後、新しく学校を建設する、学区改編をする、などの抜本的な改善(クラス数の適正 化)がなされるのかを知りたいです。

1. 小学校学習について

パソコンを用いた授業や活動がある一方で、本当に必要な支援のためにオンラインでの授業などが実施されていないことが残念に思える。例えば、感染症時のオンライン授業は、コロナ禍での数日のみで、その後の体調不良での休みや、不登校支援などに活用はされていない。双方向は難しくとも、どのような授業がされているのか視聴ができるだけでも助かる生徒は多いのではと思う。パソコンを活用した学習は、今の子どもは教えなくとも操作できる場合もあるが、必要としている生徒のため教育の環境に組み入れて行くことこそが必要であると思う。

2. 中学校について

先日市立の中学校の説明会に行き、自分の中学時代とさほど環境が変わっていないことに愕然とした。私立と市立の違いも現在 顕著であると聞くが、その通りではないかと感じた。

校長が冒頭に話したことは、中学と小学校の違いについて、「出口が違う」ということであった。そこに引っ掛かりと違和感を感じた。なぜかと考えると、入学前の希望に満ちた子供に、中学の出口すなわち、高校受験のことを指しているように聞こえたが、そのようなことを話すのはいかがなものかと思った。日本の教育は、今ある生活、今しかできない学校での学びを、次のステージの通過点として捉えがちである。小学生は中学受験を考え、中学生は高校受験のことを考える。高校に入ればすぐに大学、大学に入る時点で就活を見据える。なんの意味もない消化されるだけの10代であって良いのか。校長からのメッセージがそれではとがっかりした。基本方針を拝見しても、このようなメッセージを聞いた後には、そのようなことを本当に目指し実現しようとしているのか疑問に感じてしまう。

3. 中学校給食について

15 なぜ都道府県、市によって同じ公立中学であるのにも関わらず給食のレベルがこのように違うのか。給食を提供するのであれば、利用したいと思える内容のものを多少費用がかかっても充実を図ってほしい。

4. 通学について (特に中学)

エリア特性もあるが、坂道を30分以上かけて毎日通学する場合、負担が大きい児童が多いのではないか。通学に利用できるバス や交通手段の整備が必要ではないか。体力がない子どもは想定外に不登校に陥ることもあるのではないか。考える余地があると 思う。

5. 校則について

髪型のことばかりいまだに強調されている。いい加減前髪をピンで止める、二つ結びにするなど、どうでも良いことに力を注ぐ ことをやめてはどうか。もう少し子供を信じたらどうか。

6. 内申点、受験など

早く内申点重視の高校受験がなくなってほしい

7. 部活

地域への移行について詳しく詳細を知りたい。わかりづらい。

8. 放課後の居場所について

学童保育には、低学年までしか利用が少ないと思うので、中学年以降は逆に居場所がなくなるケースがあるのではないか。地域の公民館や、学校を活用させてあげてほしい。

思いつくことを一方的に記載しましたが、少しでも子供たちがのびのびと学び教師や友人から刺激をもらい吸収し、充実した学校生活が送れるような社会に、まずは身近な学校からできることから変えていってほしい。民間人ですが、できることがあるのであれば協力もしたいです。よろしくお願いします。

内容見させていただきました。よく吟味され、やりたい内容も感じました。学校教育についても今のところ満足しています。 チーム制の導入も良いかと思います(多くの目があることで、良いこと問題なことに気が付きやすい)が、責任の希薄化も招く のではないかと不安もあります。

16 明石では、クラスの少人数制を取り入れているようですが、神戸市でも実施してほしいと思っています。担任の負担軽減のため。またより一人一人に目が行きやすい。そして、担任や学校の教育への自由度を高めて、のびのびとした教育をしてほしいと感じてます。先生の力量で左右されるので、簡単ではないと思いますが。トップダウンでなく、現場との意見交換でより良い学校づくり。

通学路の安全確保に関しては、ガードレールの設置を検討いただきたいです。よろしくお願い致します。

神戸市の一教員として、これからの神戸市教育委員会の方向性を示す大切な指針だと感じ、素案を読ませていただいて、気になったところを書かせていただきます。

1 | 概要1策定の趣旨

本文2行目に「…いじめや不登校、特別な支援を必要とする児童生徒、外国人児童生徒の増加など…」とありますが、事務局はいじめが増加していると考えておられるということでしょうか?「いじめが増加している」ことと「いじめの認知件数が増加している」ことは大きく意味が違うと思います。これまでの校長会では、児童生徒課(担当課長)からは、積極的に認知していただいているので件数が増えていると認識しているという説明がありました。この2つの表現の違いは、振興計画自体の方向性にもかかわるのではないかと思います。よくご検討ください。また、特別な支援を必要とする児童についても、同様のことがあるのではないかと私は感じています。

2 || 計画内容2教育ビジョン

17 第2段落「自他を大切にし、…教育の充実に取り組みます。」のところですが、主語が子供なのか指導者なのかがぼやけた分に 感じました。これは、「自他を大切にし」「多様な仲間とつながり」「支え合い」「対話を重ねる」という経験を通して、と なっていますが、経験なのか育てるべき力なのかが内容的に混ざっているように感じます。そのあとの部分においても、主語の ブレを感じます。「自律心や社会性、協調性を育む」「子供たち一人ひとりの良さや個性を伸ばし」は指導者で、「自ら学び」 「自ら考え」「主体的に行動し」は子供の姿です。「未来の創り手となれるよう」は育てるのか子供がなるのかよくわからない です。

「自立心」という言葉と「自律心」という言葉では大きく意味が違いますが、あえて「自律心」と書かれているのだと思いますが、これは、文科省の第4期教育振興基本計画の方向性と合うのでしょうか。「自律」とは、「他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動すること。」ですが、そのあとに「心」をつけているので、どのような意味になるのでしょう。「心の自律」というような使い方をすることはありますが、教育の世界で使われる「自律心」とは、自分で社会規範に照らし合わせた行動をとれるようになるという意味なのかもしれませんが、その言葉が、教育ビジョンに出てくることに違和感を感じます。

また、書き方として、「予測困難なこれからの時代」に「どのような力を育んでいくのか」を先に書いてから、その内容を保 護者や市民と共有するとなる方が自然に感じます。 標記の策定に関する意見を、園内でまとめたものを送付させていただきます。

基本政策1について

・「幼児教育の充実」については、もう少し具体的な施策が記されているとよいと思いました。

基本政策2について

18

19

|・校種間連携についても、今後取組を強化していけたらよいと思います。

基本政策3について

・教育施設内の自然環境を整えていくことも、過ごしやすさにつながっていくと思います。 以上です。

どうぞよろしくお願いいたします。

非常にコンパクトにまとめられた計画を作成していただき、分かりやすいです。

基本政策1の重点施策の最後の 幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続 のところです。

幼児期の教育は、様々な幼児教育施設で行われており、非常に内容が異なります。

幼稚園教育要領に則り、なおかつ神戸市の教育理念で進めていけるように、

事務局の方も各施設で行われていることをしっかりと把握していかれることが必要かと思います。

本園の保護者会で、保護者からこのような意見が多く聞かれましたので、送らせていただきました。

頭の片隅にでもおいていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。